



1 学期も残りわずかです。子どもたちは、園生活の中で直接体験を通してたくさんのことを学び、大きく成長しました。保護者の皆様には入園・進級当時に思い出しながら、1 学期間のお子さんの成長を具体的にたくさん見つけていただけますと幸いです。「できるようになること」は、子どもたちにとって大きな喜びです。大好きなおうちの人に認めてもらうことで、自尊心が高まり、愛着形成につながります。幸福感が高まり、少し難しいことやうまくいかないことがあっても、自信をもって挑戦する子どもになります。

1 学期間、本園の教育にご理解・ご協力いただいたことに感謝申し上げます。よい夏休みをお過ごしください。



食事で育つ

子どもたちにとって食べることは、生きるための営みであると同時に、感性を使った貴重な学びの場です。食材に触れ、匂いを感じ、色や形を楽しみながら口に運びます。食べることや食材など、様々に興味や好奇心が芽生えます。楽しい食事は「食べるって楽しい！」というポジティブな感情になります。

園では、友達や保育者と一緒に会話をしながら楽しく食べています。子どもたちにとって社会的学習の場です。「おいしいね」と友達や先生と共感し合う経験が、子どもの心を大きく育てています。園での「共食」は、人とのつながりを実感する機会となっています。

食を楽しむ子に

子どもたちは一緒に食事をしている大人を見て「おいしそうに食べている！」と感じると、「ちょっと食べてみようかな」と苦手なものも食べようとします。大人がおいしそうに食べることは、子どもの食べることへの「わくわく」につながります。

また、幼児期は、なんでも「やってみたい」時期です。簡単な調理（トウモロコシの皮をむく）や簡単な選択（調理法や食材など）など、調理への参加体験を取り入れるだけでも、食事への期待感が高まります。スーパーで一緒に買い物をしたり、食べ物が出てくる絵本を読み聞かせしたりすることもいいですね。

乳幼児期の「食べる経験」が、生涯にわたる健康づくりの基礎になります。乳幼児期に育まれる「食べる楽しさ」や「食べることの安心感」はやがて思春期や成人期においても、心と体を整える礎になります。そして、子どもたちが「食を楽しむ子」として育っていった未来には、「食を大切にする大人」が待っています。

夏休みはご家庭で楽しく食事をして、その時間を家族のわくわくで満たしてください。親子のウェルビーイングが大切です。

令和8年度 港区立青南幼稚園経営計画 - 主体性を発揮して みんな笑顔の幼稚園 -



(1)健康な生活リズムと習慣、基本的な生活行動が身に付くようにします。

- ①「基本的な生活習慣の形成」、「清潔に関する指導」、「早寝、早起き、朝ごはん」など、自立心を育み、健康・安全への意識を高める。



(園経営案 4経営の重点 今年度の主な取り組みより)